

地方農政局等畜産課長 あて

生産局畜産部畜産振興課長

自給飼料の増産及び緊急確保の取組の強化について

自給飼料増産の推進については、都道府県、農業者・農業団体、食品産業事業者及び飼料関係団体の賛同を得て、飼料増産等による飼料自給率向上に向けた行動計画の策定、実行及び点検を行う「飼料自給率向上特別プロジェクト」により、関係者一体となった取組を推進しているところです。

今般の配合飼料価格の高騰の状況の中、自給飼料増産の取組の重要性がかつてないほど高まっており、また、今秋以降も穀物需給は楽観できない状況が続くものと考えられることから、我が国畜産の維持・発展を図るため、飼料増産の取組を強化するとともに、自給飼料の緊急的な確保を図る必要があります。

このためには、平成20年度飼料増産行動計画のこれまでの取組を検証し、当該結果に基づき取組を強化するとともに、年度内に活用可能な事業について更なる周知徹底・推進を図る必要があります。

以上のことから、畜産振興課長より各都道府県畜産主務課長に対し、自給飼料の増産及び緊急確保の取組に強化について報告を依頼したので御了知いただくとともに、下記のとおり、管内都府県の報告の取りまとめ等につきお願いいたします。

また、併せて、自給飼料増産に向けた取組をお願いするとともに、その取組状況等について別紙様式により、8月22日（金）12：00までに畜産振興課まで報告いただきますようお願いいたします。

なお、9月1日（月）に開催を予定している全国飼料増産行動会議幹事会において、上記報告に基づき資料作成及び検討を行う予定であることを申し添えます。

記

1 管内都府県からの報告取りまとめ

報告内容は別添の都道府県畜産主務課長宛て畜産振興課長通知のとおりであり、各地方農政局におかれましては、管内都府県分を取りまとめの上、8月22日（金）12：00（必着）までに畜産振興課飼料生産計画班宛送付願います。

2 平成20年度飼料増産行動計画に基づく取組の進捗状況の検証及び強化

- (1) 平成20年度の飼料増産行動計画に基づく取組の進捗状況を検証するとともに、検証結果について別紙様式1により報告願います。
- (2) (1)の検証結果を踏まえた今後の取組の強化について別紙様式2により報告願います。

3 今年度内の冬作飼料作物の作付拡大等による自給飼料の緊急確保に対し、活用可能な事業についての周知徹底及び推進

今年度内の冬作飼料作物の作付拡大等による自給飼料の緊急確保に対し、活用可能な

以下の事業について、事業説明会や現地座談会の開催等により更なる周知徹底及び推進を図るとともに、その周知・推進状況について別紙様式4により報告願います。

なお、事業説明会等の開催に際し、担当官の出席の要請がある場合は、可能な限り対応しますので、畜産振興課までその旨連絡をお願いします。

活用可能な事業

- ア 国産粗飼料増産対策事業のうち水田裏利用飼料生産供給推進型
- イ 粗飼料増産未利用資源活用促進対策事業
- ウ 国産飼料資源活用促進対策事業のうち放牧牛貸付制度構築事業

関係独立行政法人 あて

農林水産省生産局畜産部畜産振興課長

自給飼料の増産及び緊急確保の取組の強化について

自給飼料増産の推進については、都道府県、農業者・農業団体、食品産業事業者及び飼料関係団体の賛同を得て、飼料増産等による飼料自給率向上に向けた行動計画の策定、実行及び点検を行う「飼料自給率向上特別プロジェクト」により、関係者一体となった取組を推進しているところです。

今般の配合飼料価格の高騰の状況の中、自給飼料増産の取組の重要性がかつてないほど高まっており、また、今秋以降も穀物需給は楽観できない状況が続くものと考えられることから、我が国畜産の維持・発展を図るため、飼料増産の取組を強化するとともに、自給飼料の緊急的な確保を図る必要があります。

このためには、平成20年度飼料増産行動計画のこれまでの取組を検証し、当該結果に基づき取組を強化するとともに、年度内に活用可能な事業について更なる周知徹底・推進を図る必要があります。

以上のことから、下記の取組をお願いするとともに、その取組状況等について別紙様式により、8月22日(金)までに畜産振興課まで報告いただきますようお願いいたします。

なお、9月1日(月)に開催を予定している全国飼料増産行動会議幹事会において、上記報告に基づき資料作成及び検討を行う予定であることを申し添えます。

記

- 1 平成20年度飼料増産行動計画に基づく取組の進捗状況の検証及び強化
 - (1) 平成20年度の飼料増産行動計画に基づく取組の進捗状況を検証するとともに、検証結果について別紙様式1により報告願います。
 - (2) (1)の検証結果を踏まえた今後の取組の強化について別紙様式2により報告願います。
- 2 今年度内の冬作飼料作物の作付拡大等による自給飼料の緊急確保に対し、活用可能な事業についての周知徹底及び推進

今年度内の冬作飼料作物の作付拡大等による自給飼料の緊急確保に対し、活用可能な以下の事業について、事業説明会や現地座談会の開催等により更なる周知徹底及び推進を図るとともに、その周知・推進状況について別紙様式4により報告願います。

なお、事業説明会等の開催に際し、当省担当官の出席の要請がある場合は、可能な限り対応しますので、畜産振興課までその旨連絡をお願いします。

活用可能な事業

- ア 国産粗飼料増産対策事業のうち水田裏利用飼料生産供給推進型
- イ 粗飼料増産未利用資源活用促進対策事業
- ウ 国産飼料資源活用促進対策事業のうち放牧牛貸付制度構築事業

関係団体 あて

農林水産省生産局畜産部畜産振興課長

自給飼料の増産及び緊急確保の取組の強化について

自給飼料増産の推進については、都道府県、農業者・農業団体、食品産業事業者及び飼料関係団体の賛同を得て、飼料増産等による飼料自給率向上に向けた行動計画の策定、実行及び点検を行う「飼料自給率向上特別プロジェクト」により、関係者一体となった取組を推進しているところです。

今般の配合飼料価格の高騰の状況の中、自給飼料増産の取組の重要性がかつてないほど高まっており、また、今秋以降も穀物需給は楽観できない状況が続くものと考えられることから、我が国畜産の維持・発展を図るため、飼料増産の取組を強化するとともに、自給飼料の緊急的な確保を図る必要があります。

このためには、平成20年度飼料増産行動計画のこれまでの取組を検証し、当該結果に基づき取組を強化するとともに、年度内に活用可能な事業について更なる周知徹底・推進を図る必要があります。

以上のことから、下記の取組をお願いするとともに、その取組状況等について別紙様式により、8月22日(金)までに畜産振興課まで報告いただきますようお願いいたします。

なお、9月1日(月)に開催を予定している全国飼料増産行動会議幹事会において、上記報告に基づき資料作成及び検討を行う予定であることを申し添えます。

記

- 1 平成20年度飼料増産行動計画に基づく取組の進捗状況の検証及び強化
 - (1) 平成20年度の飼料増産行動計画に基づく取組の進捗状況を検証するとともに、検証結果について別紙様式1により報告願います。
 - (2) (1)の検証結果を踏まえた今後の取組の強化について別紙様式2により報告願います。
 - (3) (2)の今後の取組の強化にあたり、国の施策の拡充が必要と考えられる場合は、その内容を別紙様式3により提出願います。
- 2 今年度内の冬作飼料作物の作付拡大等による自給飼料の緊急確保に対し、活用可能な事業についての周知徹底及び推進

今年度内の冬作飼料作物の作付拡大等による自給飼料の緊急確保に対し、活用可能な以下の事業について、事業説明会や現地座談会の開催等により更なる周知徹底及び推進を図るとともに、その周知・推進状況について別紙様式4により報告願います。

なお、事業説明会等の開催に際し、当省担当官の出席の要請がある場合は、可能な限り対応しますので、畜産振興課までその旨連絡をお願いします。

活用可能な事業

- ア 国産粗飼料増産対策事業のうち水田裏利用飼料生産供給推進型
- イ 粗飼料増産未利用資源活用促進対策事業
- ウ 国産飼料資源活用促進対策事業のうち放牧牛貸付制度構築事業

都道府県畜産主務課長 あて

農林水産省生産局畜産部畜産振興課長

自給飼料の増産及び緊急確保の取組の強化について

自給飼料増産の推進については、都道府県、農業者・農業団体、食品産業事業者及び飼料関係団体の賛同を得て、飼料増産等による飼料自給率向上に向けた行動計画の策定、実行及び点検を行う「飼料自給率向上特別プロジェクト」により、関係者一体となった取組を推進しているところです。

今般の配合飼料価格の高騰の状況の中、自給飼料増産の取組の重要性がかつてないほど高まっており、また、今秋以降も穀物需給は楽観できない状況が続くものと考えられることから、我が国畜産の維持・発展を図るため、飼料増産の取組を強化するとともに、自給飼料の緊急的な確保を図る必要があります。

このためには、平成20年度飼料増産行動計画のこれまでの取組を検証し、当該結果に基づき取組を強化するとともに、年度内に活用可能な事業について更なる周知徹底・推進を図る必要があります。

以上のことから、下記の取組をお願いするとともに、その取組状況等について別紙様式により、8月20日（水）までに地方農政局に報告いただきますようお願いいたします。

なお、9月1日（月）に開催を予定している全国飼料増産行動会議幹事会において、上記報告に基づき資料作成及び検討を行う予定であることを申し添えます。

記

- 1 平成20年度飼料増産行動計画に基づく取組の進捗状況の検証及び強化
 - (1) 平成20年度の飼料増産行動計画に基づく取組の進捗状況を検証するとともに、検証結果について別紙様式1により報告願います。
 - (2) (1)の検証結果を踏まえた今後の取組の強化について別紙様式2により報告願います。
 - (3) (2)の今後の取組の強化にあたり、国の施策の拡充が必要と考えられる場合は、その内容を別紙様式3により提出願います。
- 2 今年度内の冬作飼料作物の作付拡大等による自給飼料の緊急確保に対し、活用可能な事業についての周知徹底及び推進

今年度内の冬作飼料作物の作付拡大等による自給飼料の緊急確保に対し、活用可能な以下の事業について、事業説明会や現地座談会の開催等により更なる周知徹底及び推進を図るとともに、その周知・推進状況について別紙様式4により報告願います。

なお、事業説明会等の開催に際し、当省担当官の出席の要請がある場合は、可能な限り対応しますので、地方農政局にその旨連絡願います。

活用可能な事業

- ア 国産粗飼料増産対策事業のうち水田裏利用飼料生産供給推進型
- イ 粗飼料増産未利用資源活用促進対策事業
- ウ 国産飼料資源活用促進対策事業のうち放牧牛貸付制度構築事業